

やわらぎ会通信

第 25 号

平成15年
5月20日

編集発行人
やわらぎ会
歯科診療所
藤田和也
編集者
山下剛史

何事も目標や目的がはっきりして

いると実現しやすくなるようです。歯の治療においても同じ事が言えると思います。

私達は、患者様が最初に来院されたときに、治療に対するご希望をよく伺いするよう努めています。そしてそのご希望を実現するためにどうしたらよいかを考え、必要に応じたお口の検査を行います。(歯に痛みがあったり、咬めなかつたりする場合は、それらが落ち着いてからになります)

検査は健康保険で決められた範囲で行うことも出来ますし、さらに詳しく行う『歯科ドック』(自由診療)というやわらぎ会独特の検査も選ぶ事ができます。全体の歯のレントゲン写真・デジタル写真、歯周病の検査、上下の歯の模型などを用いて、今のお口の中の健康状態をしっかりと確かめます。そうすると治療の目標や目的が青写真のように見えてきます。それが経済的

かつ良い結果をお約束する治療計画をたてる第一歩となります。

その計画に従って、健康というゴールを目指して治療を進めていきます。皆様のお口の健康が回復されおいしく物が食べられ、すこやかな人生を送られますことを願っております。



前回、お四国(お遍路)に歩いた事を書きましたら、いろいろとお声をかけていただきました。友達が行ったことがあるとか、自分も行く予定にしているとか。私はまだ徳島しかお参りしていませんので、今後も続けて行くつもりです。そのためにも日ごろからできるだけ歩いたり、身体を動かすように心掛けています。次回は7月ごろを予定しています。

かめるっち

Q:長い間、部分入れ歯を使っていますが、だんだん歯が少なくなつて入れ歯が安定しなくなりました。何か良い方法はありませんか？

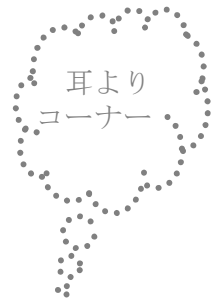
A:入れ歯が安定しない理由の一つとして、鈎(針金のような装置)の維持力があげられます。一般的に部分入れ歯の維持力は歯にかける鈎にあり、残っている歯が少なくなつたり、左右どちらか片方だけになつたような場合など、力のバランスが崩れて浮いたり外れやすくなります。そのような場合は、鈎の代わりに、小型のマグネットや、茶筒の理論を応用した二重の金冠(コーヌスクローネ)を用いると歯の数が少なくなつてもより安定します。さらにインプラント(人工歯根)を用いた維持装置を歯のない所に応用するとより安定し、噛む力も増すようです。また、よりコンパクトな違和感の少ない入れ歯にすることも可能です。

☆お手入れの道具その3

歯を磨いている時に、①もう少し奥まで磨きたいのに嘔吐がくる②歯並びが悪くて歯が重くなった③ところが難しい④ブリッジの下の部分に毛先が届かない④矯正中の子供の仕上げ磨きにもっと小さいブラシはないかしら等々と思つたことはありませんか？

そんな悩みをお持ちの方に、お奨めの歯ブラシがあります。

このブラシは毛束が小さく、形も尖つているので、①④(その他にもあるかもしれない)が②の場合に、びつたりとフィットします。形が特殊なのでドラッグストアでは手に入りにくいかもしれませんが、そんな時はスタッフに一声かけてください。



ぺぱーみんと

風薫る五月になりました。ゴールデンウィークはどこかへ出かけられましたか。毎年ゴールデンウィークには雨が降ることが多いのですが、今年はずっと晴れにめぐまれ行楽日和だったので良かったですね。でも、もうすぐ六月、梅雨の季節になるので、洗濯物は乾かないし、通勤するのも嫌になります。

ところで、最近の話題として気になること。それは(SARS)。連日のニュースで多くの人が亡くなられたり、感染や感染の疑いのある人がたくさん増えていると聞きます。早くワクチンや特效薬を作ってほしいです。日本にも(SARS)が入ってこないように予防や対策をしっかりとりたいですね。



※同封していますレセプト(保険診療報酬の明細)のコピーは平成十五年四月にお受けになられたものです。自由診療のみの方には、同封されていません。